

相生っ子

○めざす児童像
一心豊かに たくましく
ともに伸びゆく 相生っ子



令和4年8月4日 相生小学校 校長室だより 第13号 文責：岩佐隆之

夏休みも、残すところ半分となりました。感染症や熱中症に気をつけながら、子どもたちが有意義な毎日を過ごし、何かに挑戦できていれば嬉しい限りです。25日（木）には、今年の夏休みにしかできない経験を積み、心も体も一回り大きくなった相生っ子に会えることを楽しみにしています。



開校以来の伝統を受け継ぎ、今年も3年生が「相生晩茶づくり」に挑戦です

7月6日（木）には、ご厚意により、湯浅悦司さんの段所の茶畑で、茶摘みを行いました。

蒸し暑い中での作業でしたが、水分補給や休憩をとりながら、どの子も一生懸命に葉を摘み、

袋いっぱいになりました。翌7日（金）には、藤川精一さんや木下さんにご協力いただきながら、

摘んだ茶葉を釜で茹で、揉捻機でもんで、桶につけ、足で踏む作業を行いました。少し葉が

ついている体育館裏の茶葉も摘んで入れました。揉捻機は、前田先生ご寄贈です。暑い中での

重労働ですが、「やりたい。やりたい」と意欲的に取り組む3年生は働き者です。いつも感心

させられます。そして11日（月）には、築ノ上の西さん宅を訪問し、作業の様子を見学しま

した。たくさんの茶葉を大釜で茹でる様子は、壮観でした。そして、漬け込んで2週間たっ

た20日（水）の1学期最終日には、森さんにもご協力いただき、天日干しを行いました。

天気的神様に感謝です。多くの皆様のご協力で成り立っている晩茶づくり。「晩茶育」は、

「花育」「木育」とともに、地域のよさを知る本校の大切なふるさと学習です。

震度7の揺れ！机の脚をもって、頭を守ることを学んだ「起震車体験」

7月7日（木）は、南部総合県民局地域創生防災部の協力により「起震車体験」を行いました。

防災意識を高めるために、かねてから要望していた活動です。子どもたちは、南海トラフ

沖地震で想定される震度7の揺れを体験しました。体験は約30秒ですが、実際は3分近

く揺れると言われていています。大きな揺れに動揺していた子どももいましたが、この体験を生

かして、いざという時に冷静な対応ができ、地震への備えができる子になってほしいと願っています。



4年生は、ふるさと学習で7月8日（金）にクラブコルツを訪問

まず、クラブの仕事や動物について学び、餌やりやブラッシングを体験した

4年生。その後は、動物との楽しいふれあいタイム。近くにさまざまな体験施

設がある相生小学校は、本当に恵まれています。コルツの皆さん、ありがとうございました。

（裏面もご覧ください。）

「大塚国際美術館」クイズと「茶色の小びん」合奏！楽しく感動した5年発表

7月8日（金）朝の活動は、5年生の学年発表でした。学年発表は年間1回、全ての学年で行います。まずは、遠足で訪れた「大塚国際美術館」クイズ！絵の作者を当てたり、本物のモナリザの絵（向きが違う）を当てたり、システーナ礼拝堂で結婚式をした有名人を当てたりと、楽しくもひねったクイズ満載で、とても盛り上がりました。そして合奏は、さまざまな楽器を使って、10人が心を合わせて演奏しました。学期末の忙しい時期でしたが、とてもよい発表でした。



7月13日（水）は「花育」。ケイトウのブーケに4年、6年が挑戦！テレビの取材も

3年生以上が、年間4回行う「花育」。今回の花はケイトウで、1時間かけて、自分や家族に贈る「手作りのブーケ」をつくりました。講師は大西先生です。JAアグリあなん相生支所ケイトウ部会の皆様からは、様々な品種のケイトウや葉物を、南部総合県民局農林水産部からは、ドライフラワーのケイトウをいただきました。1学期を頑張った自分のために、そして自分たちを支えてくださっている家族のために、感謝の気持ちをこめて、思い思いのブーケを作った子どもたち。四国放送の取材もあり、夕方の「フォーカス徳島」で放映されました。全国的にも先進的な取組である「花育」。地域の伝統産業に関心や誇りをもち、花で暮らしを豊かにしていこうとする態度を養うとともに、地域の方々への感謝の気持ちを大切にしたいと願っています。今回は、子どもたちが司会進行しました。司会もあいさつも立派で、多くの感想発表もありました。次は11月。オモトの生け花に6年生が挑戦します。



<大変遅くなりましたが、授業参観（6月）の感想を、順不同で掲載します。次号に続きます。>

○3年生、5年生は同じ算数でした。真剣に取り組んでおり、感心しました。おもしろいもので、5年生になると、「あっちにいったいて」。3年生は、うれしそうに笑顔になります。心身が大きくなっていくことが目に見えて、おもしろかったです。

○白衣を着て給食の準備をする姿を間近で見て、成長に感動してウルウルきました。お汁がとても薄味で、出汁であたかい味だったのが印象的でした。家庭であの塩加減にした場合、あんなに食べてくれるのか…？書写の授業は、マイペースで抜ける場所があったとしても、最後はきちんと終わらせてびっくり。間違えても勘違いをしても落ち込まず、すぐに切り替えて、次の行動に移る姿が見えました。普段から温かく、間違いを責められない環境なんだろうと、自信をもって前に立って発言する姿から感じました。そして、いつも何気なく書いているひらがなに、それぞれ違った特性があるんだ！と親のこちらも勉強になりました。

○同時に授業参観ができたので、スムーズに進んだと思います。授業参観なので、国語や算数などの授業の方が分かりやすかったように思いました。どこまで理解しているか見れたかなと思いました。AEDの講習は、竹内さんが分かりやすく教えてくださり、楽しく学ぶことができました。お世話になりました。

○楽しく勉強できてよかったと思えました。学校のルールを守れていて安心しました。コロナの影響もあると思いますが、もう少し楽しく給食が食べれたらいいなと思えます。

○今回は、6年生の授業は総合で、修学旅行での体験や調べたことの発表を見せてもらいました。どの班も、期間が短いのに、すごくきれいにまとめていて感心しました。内容も、すごく深まっていたように思いました。子ども自身も、修学旅行がすごく楽しかったのも、それを生かして学習につながっているように思いました。また、家庭教育研修も、思いのほか、たくさんの方が参加されていてよかったと思えました。今回はこんな研修もできて、少しずつ以前のような参観授業に戻りつつあり、嬉しく思いました。

（裏面もご覧ください。）